



長浜高等学校 2年（受賞時1年）

（左から）
池本 新 さん
大西 寅ノ介 さん
中西 煌星 さん



イベントなどのロゴデザインはAIを活用して自分たちで作成

長浜高校で水族館部に所属する3人は、地域が持つ課題解決に取り組む「地域探求プログラム」に参加し、最優秀賞となる文部科学大臣賞を受賞しました。

3人が取り組んだ内容は、過疎化が進む地域を盛り上げるため、水族館部の活動を中心に地域を「海洋教育の聖地」とすることで関係人口を増加させようというもの、インターネットを活用したオンライン個別水族館や生き物好きが集まるコミュニティイベントを企画・運営しました。イベント参加者の中には、長浜高校への進学を考え始めた中学生もいて「来年は後輩として水族館部を盛り上げてくれるはず」と期待をにじませます。機材の準備やイベント進行では苦勞の連続だったそうですが、「自分から動いてみることで、対応力や判断力が身についた」と成長に自信をみせる3人。それぞれが水産業や生物関係の仕事を目指しているそうで、夢中になって生き物の話をしているその目はとても輝いていました。

HighSchool NOW

～市内5校の高校生によるリレーエッセイ～

Vol.86 大洲農業高等学校

大洲農業高校生産科学科の大野将也^{まさや}です。私は現在、生産科学科果樹班を専攻し、地域基幹産業であるブドウの栽培や果樹園に植えられている苗木の管理作業を学んでいます。

大洲農業高校では、3年前から愛媛大学と連携し、南予地域でお盆の棚飾りに使用されるバショウを利用した農業用資材の開発に取り組んでいます。中でも昨年からはスタートした有機肥料の開発では、本校や地域のみなさんのご協力のもと試験栽培を実施。化成肥料に代わる肥料として可能性を十分に示すことができ、今年の6月には県内企業と連携した製品化が達成できる予定です。

肥料価格の高騰により農家の経営が逼迫^{ひっばく}し、地域の未利用バイオマスを利用した肥料の開発が持続可能な農業を实践する上で急務とされる中、私たちのこのような取り組みは全国でも評価されるようになり、第9回全国ユース環境活動発表大会の四国大会で最優秀賞を受賞しました。今年2月には全国大会にも出場し、環境再生保全機構からも高く評価されています。

今後も持続可能な農業の発展に向けて、専攻班全員で大洲の農業を盛り上げていきたいです。



第9回全国ユース環境活動発表大会



オズメッセでの販売活動

一次回は長浜高等学校からです。

市議会が100回目を迎えました

平成17年1月に市町村合併により新市がスタートしてから100回目の議会開催を記念した銘板を作成し、議場に掲示することとなり、100回目である令和6年3月定例会初日の2月27日(火)に議場でお披露目されました。田中堅太郎^{けんたろう}議長は「合併からこれまで72人の議員がより良い大洲市のまちづくりのために尽力してこられたことに感謝したい」と述べました。



記念撮影する議員と市関係者

わたしから広げよう！健康づくりの輪

3月2日(土)、総合福祉センターで「大洲市健康づくり講演会」を開催しました。今回は国立循環器研究センターの小久保喜弘^{よしひろ}医師と国立がん研究センターの澤田典絵^{のりえ}医師による2部構成として、循環器病やがんなど生活習慣病の予防に関する講演を行いました。講演では「次世代多目的コホート研究事業」の結果や研究結果に基づく10項目の生活習慣が紹介され、参加者は健康への思いを深めました。



澤田典絵医師

小久保喜弘医師

消防出初式

3月3日(日)、令和6年大洲市消防出初式が五郎大橋上流の河川敷グラウンドで行われ、薄氷の張る早朝から消防団本部と市内23分団の団員890人が出動しました。服装点検や車両点検のほか、今年からは新型コロナウイルスの影響で中止されていたポンプ車や可搬ポンプによる消防操法も復活し、日頃の訓練の成果が披露されました。また、式終了後には一斉放水が行われ、観衆からは拍手が沸き上がりました。



きらめき

ニュース

シリーズ

お知らせ

情報ひろば

図書館

未来を拓く

保健センター

相談・救急



鹿野川バイパスが開通しました

山鳥坂ダム建設に伴い県と国土交通省が整備を進めていた主要地方道小田河辺大洲線の一部「鹿野川バイパス」(1.2km)が、3月3日(日)に開通しました。

当日行われた記念イベントでは、地元住民など約200人が開通直前のトンネルや橋のウォーキングをはじめ、肱川中学校生徒によるトンネル内でのコンサート、高所作業車の試乗、VR体験などさまざまな催しを楽しみながら新しい道の完成を祝いました。



エバー航空の孫嘉明社長(中央)から二宮市長に航空機のミニチュアがプレゼントされました

歓迎來到大洲 (ようこそ大洲へ)

3月7日(木)、台湾のエバー航空とメディアなどの関係者一行が観光列車「伊予灘ものがたり」で伊予大洲駅に到着し、町並み散策や大洲城でのキャスルスティ(城泊)で行われる城主入城体験や鉄砲隊演武、城内案内などを体験しました。

この企画は、松山空港と台湾を結ぶ航路が3月から再開したことを受け、愛媛県がインバウンド需要を取り込もうと企画したもので、他の市町も含めた県内の観光PRの一環として行われました。



心打つ響き 親と子のコンサート2023

3月9日(土)、おおず親と子のコンサート2023を大洲市民会館で開催しました。松本和将さんと上里はな子さんがピアノとバイオリンで名曲の数々を奏でると、美しい響きが会場を包み込み、子供からお年寄りまで約500人の観客はうっとりとし身を委ねていました。

観客の小学生は「目の前で聴くとすごい迫力だった。私は将来ピアノの先生になりたいのでとても勉強になった」とうれしそうに話してくれました。



みんなで考える防災まちづくり

地域みんなで防災について考えようと、「防災まちづくり・報告会」が3月16日(土)に総合福祉センターで開催されました。報告会では、行政による治水対策やまちづくりの取り組みに加え、2月に高校生と東京大学の学生を中心として実施されたワークショップの成果発表も行われました。また、パネルディスカッションでは高校生から「防災力を高めるためには住民のつながりが大事。みんなで防災を学べる場をもっと提供してほしい」などの意見が出されました。

観光シーズンがスタート

第76回観光さくらまつりの開催に合わせて、初日である3月19日(火)に城山公園で開幕式が行われました。式ではまつりの成功を願う神事しゅうじの後、藤岡周二大洲市観光協会長が「これから桜からツツジと花の季節が続き、大洲市の観光シーズンが始まる。いま外国からの観光客を含め、多くの人がこの大洲市を訪れている。これからも市民のみなさんと協力しながら観光事業を盛り上げていきたい」と抱負を語りました。



文化芸術と市民交流の中心に

令和11年度のオープンを目指して準備を進めている新しい市民文化会館の基本設計がまとまり、3月19日(火)に総合福祉センターで説明会を開催しました。施設内を歩いているような視点で作られたウォークスルー動画などを使って設計者が建物の概要を説明し、参加者からは材質やホールの音響についてなどの質問がありました。



図面や動画は右の二次元コードから見ることができます。

市ホームページ



日本語学習情報交換会

愛媛県国際交流協会が市町や地域団体などと協力し進めている地域日本語教育の取り組みについての情報交換会が3月20日(水・祝)に市役所で開催され、地域で暮らす外国人住民とのつながりの場や日本語教室などの活動報告を通して、行政や事業所の職員などが情報交換を行いました。

大洲市でも令和5年度からオンラインでの日本語教室や対面による交流会を行い、多様な背景を持つ地域住民が「ことばでふれあい、ともにかたりあえる地域社会」を目指しています。



CM大賞受賞おめでとうございます！

ふるさとの魅力や思いをCMとして表現する「ふるさとCM大賞えひめ」(愛媛朝日テレビ主催)で白滝地区の地域づくり団体「白滝フロンティア会」が見事大賞を受賞しました。3月24日(日)には関係者が白滝公民館に集まり、みんなで番組を視聴。会長の上満耕士こうじさんは「30秒の中に地元愛を詰め込むのは大変だったが、これを機に多くの人々が白滝を訪れてくれたら」と満面の笑みでした。受賞作「夢わらベシンポジウム」は県内外の放送局で年間200回放送されます。



白滝フロンティア会関係者のみなさん

【春キャベツのチャーハン】



材料（4人分）

春キャベツ	4枚
長ネギ	25g
卵	2個
ハム	4枚
ご飯	800g
しょうゆ	大さじ1
塩	小さじ1/2
コショウ	少々
油	適量

作り方

- ① キャベツは芯を取って一口大に切り、長ネギはみじん切りにする。ハムは1cm程度の角切りにする。
- ② フライパンに油を入れて、溶き卵を入れて軽くかき混ぜる。ふんわり炒めて皿にとる。
- ③ 空いたフライパンで長ネギを炒め、ご飯を加えてほぐしながら炒める。
- ④ 全体がパラパラになったら、②の卵を加え、ハム、キャベツを加え炒める。
- ⑤ Aで味を調える。

キャベツの栄養

キャベツは水分が多く、低カロリーでヘルシーな野菜の一つです。キャベツ特有のビタミンU（キャベジン）には、胃腸の粘膜を正常に保つ働きがあり、胃炎や胃潰瘍の予防に役立ちます。また、食物繊維が豊富で、食後の高血糖を防いだり、整腸作用による便秘改善も期待されます。



【レシピ提供：健康増進課】

CDO補佐官 鈴木邦和くにかずの

第16回

DXのすゝめ



今回は病院のDXについてご紹介します。みなさんも病院で長時間の診察待ちの経験はあると思いますが、特に病氣中に待つのは辛いケースも多いものです。そこで、コロナ禍以降、民間の病院を中心に予約システムが導入されるようになりました。事前にLINEなどで診察時間を予約し、問診票なども記入して提出しておくことで、指定の時間に病院に行けばスムーズに診察を受けられるというものです。また、事前に診察時間が定めにくい診療科でも、診療を待っている患者数が自動で更新され、自分がどのタイミングで病院に行けばいいのか教えてくれるサービスもあります。

さらに一部の疾患では、完全にオンラインでの診療もできるようになっています。私も先日、オンライン診療を利用したのですが、パソコンのオンライン会議機能を使って医師の診察を受けられ、薬も宅急便で届けてくれるという画期的なサービスで感銘を受けました。病院だけでなく、薬局に処方箋を出しに行く必要もないため、自宅にいながら10分程度で終わられました。

今後、こうしたサービスが広がっていくと、患者側の利便性も大きく向上できると期待しています。

文化財

手水鉢

大洲市指定有形文化財
(石造美術)

住吉神社所有



長浜の住吉神社の境内にあるこの手水鉢は、高さ140cm、直径37cmの石柱で、石材は黒雲母安山岩くろうんもあんざんがんです。

手水鉢の側面の文字は風化して現在は解読が困難ですが、年号は「応永八年」と読めるという見解もあります。

この石柱はもともと、応永年間に伊予市中山町の永木三島神社へ寄進された鳥居の柱でした。大洲2代藩主の加藤泰興やすおき（1611～78）が石材の立派さに驚き、江戸に持参するため長浜まで運ばせたものの、江戸に運ぶのをあきらめ、住吉神社に手水鉢として奉納したとされています。

なお、前出の三島神社には、応永9年（1402）と記された鳥居の安山岩製の石柱が残されていて、愛媛県指定の有形文化財となっています。

(昭和48年2月7日指定)